

北秋田市への定住促進と地域の活性化を図ります

空き家バンク制度利用者募集

【お問い合わせ】
都市計画課
都市計画住宅係
☎72-5246

空き家バンクとは、空き家の賃貸・売却を希望する所有者から情報提供を受け、空き家バンクに登録した物件を市のホームページ等で、利用希望者に紹介する制度です。

売りたい方 / 貸したい方

ぜひ空き家の登録を！

☆空き家物件を登録すると

申込書類及び物件を確認後、北秋田市のホームページ等で情報を公開します。また、申し込みがあった際には、その情報を提供します。



誰も使っていない空き家...でもその空き家を必要としている人が

【申し込みに必要な書類】登録申込書／登録カード／固定資産税課税明細書／身分を証するもの（運転免許証の写しなど）／登記簿謄本の写し

買いたい方 / 借りたい方

希望にピッタリな物件を紹介！

☆空き家バンク制度利用に登録すると

市から利用希望内容に合致する物件情報を電話やメール、郵送などでお知らせします。

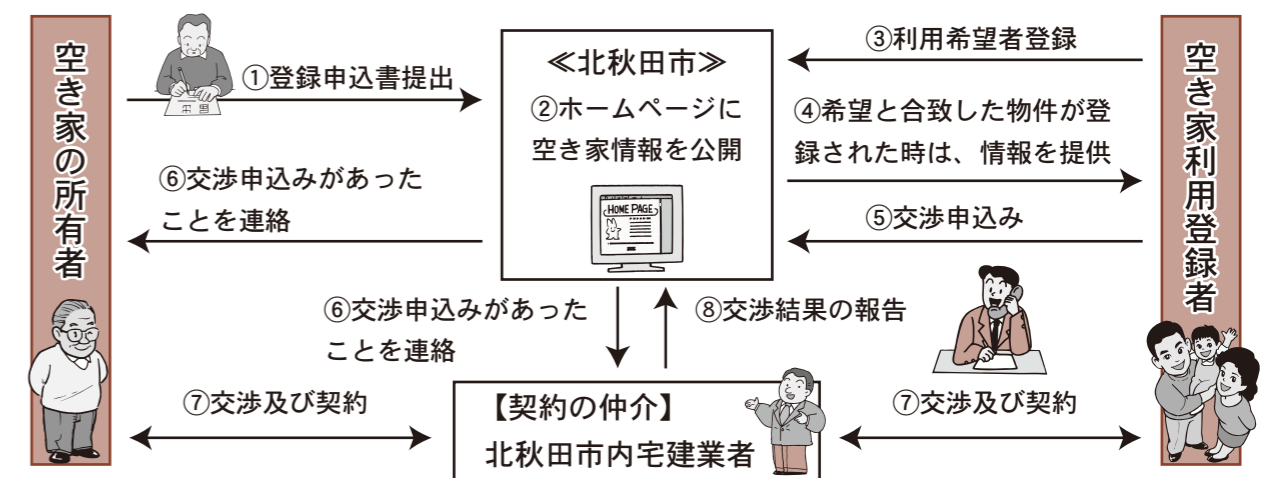


移住を考えている市外の方はもちろん、住宅を探している市民の方も利用できます。

【申し込みに必要な書類】利用希望者登録申込書／利用者登録カード／身分を証するもの（運転免許証の写しなど）

申し込み方法や申込書の入手については、市のホームページをご覧ください。

空き家バンク制度の流れ



【注意事項】……市では、情報の紹介や必要な連絡調整等を行います。所有者と利用希望者の間で行う物件の賃貸・売却に関する交渉・契約に関する仲介行為は行いません。また、契約後のトラブル等についても当事者間で解決をお願いします。なお、空き家情報は、所有者の申し込みに基づき作成しています。

「お試し移住体験」

北秋田市
地域おこし
協力隊

きたあきたの 魅力発掘

vol.5



米倉信人隊員

地域おこし協力隊の米倉です。今回がこのコラムで2回目の投稿となります。

北秋田市では、移住を検討している方に向けて、移住体験事業を行っています。昨年度完成した移住定住ネットワークセンターは、移住体験に來られた方の宿泊場所として利用しています。

今年度は、非常に速いペースで移住体験の申し込みがあり、6月は3組、7月は1組、8月は2組が北秋田で暮らしや仕事の体験をしています。その中か



▶ニンニクの収穫作業中

ら、先日仕事体験に参加した方に同行し、ある企業と一緒に農業の体験をしてきました。農作業の内容は、ちょうど収穫が始まったニンニクを、トラクターで掘り起こし、茎と根を手作業で切り取ってコンテナに詰めるというものです。台座に座り、ひたすら切り取る作業は、単純ながら気を抜くと指を切ることもあります。会社の人たちは梅雨の合間をぬって、朝から夕方まで作業を続けますが、私たちは午前中のみ体験でした。農作業の体験をした方は「いい経験になった」と話していました。その一方で、ずっと低い台座に座り続けている作業により私は腰が・・・。

北秋田市では、仕事体験をさせていただける企業を募集しています！

移住定住支援室

☎62-6606



環境 コラム 第18回

1日1人約140グラム

これは何の数字でしょう？

厳しかった夏の暑さも、新秋の涼風とともに和らいできました。いよいよ食欲の秋の到来です！サンマ、栗、サツマイモなど秋の味覚に食欲が湧いて、ついたくさん食べ過ぎてしまいませんか。

さて、今月の環境コラムのテーマは、食欲の秋にちなんで「食品ロス」です。食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまっている食品のことです。日本の食品ロスは年間646万トン（2015年度時点）と推計されています。その半分は家庭から発生しています。国民1日1人あたりの食品ロスは約140グラムで茶碗約1杯分の量に相当します。食品ロスを削減するために、私たちができる3つの取り組みを紹介します。

①すぐに食べる商品は、消費期限や賞味期限が近い商品を購入します。②買い物をする前に冷蔵庫などの中身を確認し、買う必要がある物をメモします。③残っている食材

から使います。ほかにもいろいろありますが、まずは簡単にできることから始めてみましょう。また、現在、全国で広がっている取り組みとして、宴会の開始30分と終了10分前には自分の席に座って食事を楽しむという「3010運動」があります。この運動を提唱した長野県松本市では、宿泊施設で1年間に食べる食べ残しの量が約半分になったなど、目に見える効果が出ています。

みんなで減らそう 食品ロス！

